

2023年度 新潟市文化財センター 企画展 2

# そだ 育てる・つむ 紡ぐ・お 織る

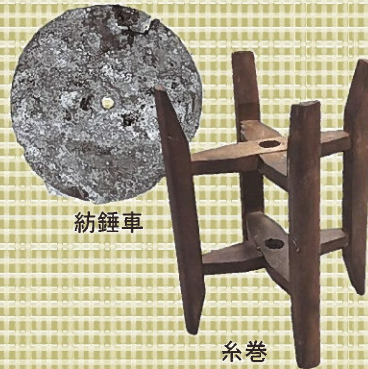
## — 麻の歴史 —

2023 9/12 (火) ▶ 2024 3/24 (日)

開館時間：平日 午前9時～午後5時 土・日・祝日 午前10時～午後4時

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、9/26、年末年始（12/28～1/3）

観覧  
無料



縄文土器に残る布の痕

須恵器に残る布の痕

1. カラムシの収穫
2. カラムシの皮をはぐ
3. カラムシで編んだ布
4. 糸を紡ぐ
5. 復元された弥生時代の機織り機
6. 機を織る

「麻」は、縄文時代から編布（アングイン）などに使われてきた、身近な素材の一つです。糸や布そのものは地中で腐ってしまうため、遺跡ではなかなかお目にかかることができません。しかし、最近では、機織りの復元実験や、分析により使用された植物を特定する「繊維考古学」などさまざまな研究が進んでいます。

今回の企画展では、麻の利用とその歴史について、新潟市及び近隣の考古資料を中心に、絵図、復元写真なども合わせてわかりやすく展示します。

### 企画展関連講演会

**11/3**（金・祝） 午後1時半～午後3時

### 「考古資料から考える古代の紡織について」

講師：東村純子氏（福井大学准教授）

会場：新潟市文化財センター1階 研修室

定員：会場 先着30名（申し込み不要）

オンライン配信 先着100名（要申し込み）

#### ●オンライン配信の申し込み方法

右記の2次元コード「オンライン申請システム e-NIIGATA」をご利用ください。



申し込み期間 10/4(水)午前9時～10/31(火)午後5時まで

新潟県主催「にいがた秋の文化財一斉公開」に合わせ、当センター所蔵の県指定文化財を展示します。こちらもどうぞご覧ください。

### みなみあかさか いせき 南赤坂遺跡

（新潟市西蒲区竹野町）

古墳時代前期の集落跡から出土した、北方民と接触があったことを示す貴重な資料です。



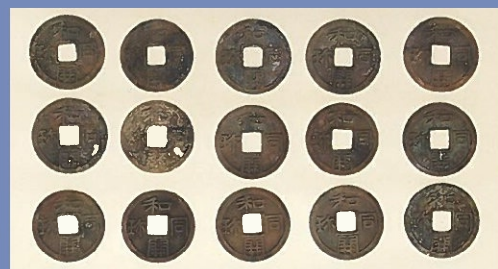
地元の土器と北方民の土器

### まとばいせき 的場遺跡

（新潟市西区的場流通1丁目）

8000個を超える漁網のおもりや、「杉人鮭」（すぎひとさんが捕った鮭？）と書かれた木簡などから、奈良・平安時代の役所で、鮭漁に関わっていたと考えられています。

また、遺跡も県指定を受け、現在史跡公園として親しまれています。



奈良時代のお金（和同開珎）

お車で

新潟西バイパス亀貝インターから南へ約10分（5km）  
北陸自動車道黒埼スマートインターを北へ約5分（3km）  
JR越後線 寺尾駅から約18分（6.1km）

バスで

青山バス停発 新潟交通バスW80、81 味方・月潟線  
・「木場川前バス停」から徒歩約25分  
・「木場バス停」から徒歩約15分（土・日・祝日運休）



主催・問い合わせ先

### 新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748-1

TEL 025-378-0480 FAX 025-378-0484

<https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/rekishi/maibun/index.html>

